

プレイジム 自己評価表 (2018年3月実施)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓			
	②	職員の配置数は適切であるか	✓			職員数のみならず専門職を必要に応じて配置
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		✓		物理的なバリアフリー化の配慮は十分ではないが、印刷物にUDフォントなどを活用
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		✓		人事考課などを通して振り返りを実施
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		✓		年1回、利用児及び保護者アンケートを実施し、支援内容、業務内容の見直しを実施しているが、十分な効果が得られていない
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		✓		保護者懇談会及びホームページで公開
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		✓		第三者評価は受けていないが、実践内容に関連学会等で報告し、学術的な評価を受けている
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓			年6回程度の施設内研修を実施するとともに、随時、学会、研修会への参加の機会を確保
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			アセスメント期間を設け、面接、各種検査などを実施し、個別支援会議などで方針を決定しているが、アセスメントの質的向上に努力が必要
適切な支援の提供	⑩	相談支援事業所が作成したサービス利用計画に基づき個別支援計画を作成しているか	✓			支援前のサービス担当者会議などの情報やサービス利用計画を参考に作成している
	⑪	子どもの発達状況や特性を捉えるために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		✓		JPAN 感覚処理・行為機能検査、K-ABC II 心理・教育アセスメント、ヴァインランドII 適応行動尺度などの検査を必要に応じて使用
	⑫	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			日々のミーティングにおいて、チームで検討
	⑬	利用児の個別支援計画と整合性のある活動プログラムを提供しているか	✓			日々のミーティングにおいて、チームで検討しているが、検討が不十分であり、今後、施設内モニタリングなどを強化
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			利用開始時に利用児のニーズに基づき、活動の形態(集団・個別)、目的(発達促進・アニマシオン)などを検討し支援計画を作成
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓			支援開始前のミーティングにて確認している
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	✓			支援翌日のミーティングにて、利用児の様子やプログラムの適切さなどについて日々話し合っている

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓			見本なる記録フォーマットを作成するなど、日々、適切な記録作成に努めている
	⑱	定期的にモニタリングを行い放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		✓		定期的に児童発達管理責任者による現場モニタリングを実施しているが、不十分
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		✓		当施設の特徴を生かした支援活動を中心に実施している
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓			原則、児童発達管理責任者が参加
	㉑	学校との情報共有を適切に行っているか		✓		必要に応じて学校への連絡を行っているが、施設として積極的には取り組めていない
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		✓		現在、医療的ケアが必要な子どもは在籍していない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			✓	必要に応じて実施
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			✓	実施できていない
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等と連携しているか		✓		必要に応じて実施しているが、施設として積極的には取り組めていない
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			✓	意図的にそのような企画は実施していない
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	✓			地域自立支援協議会専門委員として参画している
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		✓		出来る限り実施しているが、まだ保護者のニーズに十分対応できていないこともある
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対する支援を行っているか		✓		保護者懇談会の際に、保護者の対応力向上につながる講習会などを実施しているが、日々の支援のなかで対応は不十分
保護者への説明責	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓			利用契約時の面接にて実施
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		✓		保護者よりもっとじっくり時間をとってほしいとの要望も多いため、療育時間外での対応も行っているが、十分に活用できていない
	㉒	保護者同士の連携を支援しているか		✓		保護者懇談会、保護者参加型活動などを通して、交流の機会を提供しているが回数は少ない

任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓			主に児童指導員が対応している。必要に応じて、児童発達管理責任者を含めた面談などで、利用児や保護者が安心して利用できるよう心掛けているが、全体的に迅速性に欠ける傾向もある
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			✓	現在、会報などの発行はない。今後、SNS などの広報を実施予定
	③⑤	個人情報に十分注意しているか		✓		年 1 回、個人情報保護に関する職員研修を実施、収納棚の施錠、PC ファイルの暗号化などを実施しているが、まだ十分でない点もみられた
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			視覚的構造化などによる合理的配慮を実施
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			✓	事業所と地域でイベントなどを開催することはなく、関係は希薄
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓			感染症対応マニュアルは作成し熟知に努めており、利用児の手の消毒なども定着しつつある
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓			年 2 回、避難訓練（消防訓練）を実施している
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓			年 1 回、虐待に関する職員研修を実施
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			✓	現在、身体拘束が必要な利用児の在籍はなし
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓			個人情報シートにアレルギーの内容を記載。食事を伴う活動時には、保護者に再度確認している
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓			ヒヤリハット報告ファイルを作成し、事例について随時、ミーティングにて共有